

## 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

1. 目的 ・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。  
 ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。  
 ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査実施日 令和7年4月14日(月)～17日(木)

3. 調査対象 小学校6年生、中学校3年生

	学校数	実施児童生徒数		
		国語	算数・数学	理科
小学校 (465人)	11	433人	433人	437人
中学校 (482人)	3	429人	427人	440人

4. 調査結果の概要(本市の各教科の平均正答率)

<小学校>

	亀山市	全国	三重県
国語	66.0%	66.8%	66.1%
算数	57.0%	58.0%	57.1%
理科	55.0%	57.1%	56.0%

<中学校>

	亀山市	全国	三重県
国語	50.0%	54.3%	53.2%
数学	40.0%	48.3%	47.4%
理科	478	503	498

※中学校理科については、IRTスコアとなっている。500を基準とした得点で表す。

5. 全国平均正答率に対して5ポイント以上マイナスとなっていた問題数

(単位:問)

校種	教科	令和6年度		令和7年度	
		全問題数	5ポイント以上マイナス	全問題数	5ポイント以上マイナス
小学校	国語	14	5	14	0
	算数	16	11	16	2
	理科			17	4
中学校	国語	16	5	14	4
	数学	16	8	15	14
	理科			22	7

## 6. 児童生徒質問調査の主な結果

※( )の数値は、全国平均との差

### (1) 自己肯定感等

(単位:%)

		令和6年度	令和7年度
自分には、よいところがあると思いますか。 【肯定的な回答】	小6	79.9(▲4.2)	84.7(▲2.2)
	中3	87.3(4.0)	85.0(▲1.2)
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか 【「よくある」「ときどきある」と回答】	小6	92.9(1.2)	95.0(2.0)
	中3	92.9(3.1)	90.9(▲0.7)
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか 【肯定的な回答】	小6	91.7(1.8)	94.4(2.2)
	中3	92.4(2.0)	92.3(0.1)

### (2) 学習習慣等

(単位:%)

		令和6年度	令和7年度
平日の学習時間 【1時間以上】	小6	44.7(▲9.9)	51.8(▲2.2)
	中3	60.0(▲4.3)	60.1(▲1.5)
休日の学習時間 【1時間以上】	小6	41.5(▲7.1)	39.5(▲7.6)
	中3	48.7(▲14.3)	46.4(▲11.5)

### (3) 学習活動等について

(単位:%)

		令和6年度	令和7年度
今までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。 【肯定的な回答】	小6	92.9(5.3)	82.4(3.6)
	中3	96.6(2.0)	79.1(▲1.0)
今までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。 【週3回以上】	小6	81.3(0.0)	94.2(15.9)
	中3	84.1(1.7)	91.4(3.3)
国語の勉強は好きですか 【肯定的な回答】	小6	54.3(▲7.7)	52.2(▲6.1)
	中3	66.8(2.5)	50.9(▲7.0)
算数・数学の勉強は好きですか 【肯定的な回答】	小6	59.4(▲1.6)	56.3(▲1.6)
	中3	56.8(▲0.4)	49.3(▲4.5)
理科の勉強は好きですか 【肯定的な回答】	小6		76.5(▲3.6)
	中3		58.4(▲5.4)

### (4) 学校生活等

(単位:%)

		令和6年度	令和7年度
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか 【肯定的な回答】	小6	86.1(1.9)	89.8(6.5)
	中3	93.4(7.1)	86.1(1.8)
学校に行くのは楽しいと思いますか 【肯定的な回答】	小6	84.4(▲0.4)	85.6(▲0.9)
	中3	91.9(8.1)	86.4(0.3)
友達関係に満足していますか 【肯定的な回答】	小6	92.3(1.2)	92.4(0.7)
	中3	93.7(3.6)	88.8(▲2.6)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか 【肯定的な回答】	小6	82.1(▲1.4)	79.9(▲1.4)
	中3	81.2(5.1)	76.4(1.1)

## 7. 今年度の本市の調査結果について

### 【小学校】

- 国語では、思考・判断・表現の話すこと・聞くこと・読むことの内容において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることにわずかに課題が見られた。
- 算数では、知識・技能、思考・判断・表現の図形の領域において、基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述すること、作図することにわずかに課題が見られた。
- 理科では、知識・技能の「粒子」を柱とする領域において、水の蒸発や結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解することに課題が見られた。
- 全国・県との差がほとんどなく、昨年度の取組が、結果につながっていると考えられる。

### 【中学校】

- 国語では、思考・判断・表現の書くことにおいて、書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることに課題が見られた。また、読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることに課題が見られた。
- 数学では、知識・技能、思考・判断・表現の数と式、図形、関数、データの活用全ての領域において課題が見られた。その中でも、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られた。
- 理科では、思考・判断・表現の「粒子」を柱とする領域において、「探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現すること」、「地球」を柱とする領域において「地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈すること」に課題が見られた。
- 全国・県との差があり、全体的に課題が見られた。

### 【児童生徒質問調査】

- 小中学生とも、「平日の学習時間」「休日の学習時間」において1時間以上と回答する割合が低く、全国平均と比べて下回る状況が続いている。

## 8. 調査結果を受けての対応

市教育委員会では、教科に関する調査や質問調査の結果について、多面的な視点から分析を行う。明らかになった課題をふまえ、子どもたちのやる気や自信につながる授業改善や、学習習慣の確立に向けた取組を進める。

- ① 「Kameyama Study Week」などでAI型教材「Qubena（キュビナ）」の積極的な活用を奨励し、活用好事例を市内各校へ共有する。（キュビナ実証校の成果）
- ② 各校の研修推進委員会において、調査結果の分析、課題を精選して、取組を絞り込む。学年・学級の実態に応じた独自の取組を設定する「学力向上取組シート」の作成をさせ、市教育委員会は、そのシートの進捗状況を確認し、必要に応じて指導・助言・支援を行う。
- ③ 算数・数学に焦点をあてた学力向上研修会を開催する。
- ④ 市・県教育委員会の指導主事や学力向上アドバイザー訪問での指導・助言による授業改善の推進をする。（重点校に指定することによる教職員の意識と行動が変わる）
- ⑤ 調査結果について、市内校長会および研修担当者会において、本市の学力・学習状況の強み・課題を共有する。